アジア太平洋地区工学教育協会 Workshop 2012 と理事会

AESEAP Workshop 2012 and Executive Committee Meeting

藤 田 肇^{※1}
Hajime FUJITA

AESEAPは3年に1回国際大会と理事会を開催しますが、他の年はワークショップと理事会を開催しています。現在理事国は15カ国14票（オーストラリアとニュージーランドは統一で1票）であり、理事会成立要件は理事国の1/3以上の出席となっています。したがって5カ国以上の出席で理事会は成立します。会長職と事務局（幹事協会）は3年ずつ各国の持ち回りとなり、2012年1月から3年間、日本がその任に就いています。2009年～11年まで幹事協会であったCACEE（Chinese Association for Continuing Engineering Education）から事務や予算の引き継ぎがようやく終わり、日工教は本格的にAESEAP幹事協会としての活動を開始したところです。AESEAPのホームページも作成中で、近日中に完成する予定です。昨年CACEE主催で国際大会（北京）を行ったので、今年はワークショップを日工教の年次大会における国際セッションと同時に行い、その後で理事会を開催することにしました。AESEAPは元々ユネスコの支援で発足しましたが、その後ユネスコの工学系への予算が削減されて、支援が厳しくなってきました。しかしユネスコ担当者も色々努力してくださり、今年も若干の補助をいただける方向で進めております。

8月23日の国際セッションはAESEAP Workshop 2012 との共催となっており、16件の一般講演（午前9時～12時にまでに9件、午後14時10分から16時30分までに7件）と2件の特別講演が予定されています。一般講演は去年まで質疑を含んで15分でしたが、時間不足が目立ったため今年から20分に延長されました。特別講演は、ASEE（American Society for Engineering

Education, 2006年以来毎回国際セッションに参加）から会長のブキャナン氏と、JABEE（日本技術者教育認定機構）会長の木村孟氏です。

8月24日は、午前中にAESEAP理事国の招待講演2件と理事国のカントリーレポート、午後に理事会を予定しています。招待講演はKSEE（Korean Society for Engineering Education）会長のM. K. Kim氏（Present State of Engineering Education in Korea: Positioning in the World）と日工教の武居国際委員長兼AESEAP会長（JSEE Initiatives to AESEAP）が予定されています。

参加理事国は日本の他に、中国、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、パプア・ニューギニアなどが予定されていますが、まだ出席の通知が来ていないところもあり、調整中です。また、ここ数年連絡が取れない理事国があり、これらの国を今後どう扱うかも理事会の重要な議題となります。

今回の理事会議題は次を予定しています。

- * 副会長の選任と次回会長国の決定
- * 2013、14年の理事会開催国の決定
- * 決算報告・事業報告および予算案・事業計画策定
- * コンタクトの取れない理事国の取り扱い
- * 必要に応じて定款の改訂
- * AESEAPの将来計画

たとえば、アジア地区との工学教育関連情報交換を高専機構と連携して展開していくことなど、ここ数年理事会に参加していない国々にも魅力のあるようなAESEAPにして行きたいと思っています。

2012年7月12日受付

※1 AESEAP 事務局次長
日本工学教育協会国際委員
日本大学理工学部